

NEWS RELEASE

平成 21 年 5 月 7 日

市光工業株式会社

ICK902

市光工業株式会社

生産体制再構築計画の抜本的な見直しを図る

～投資費用効果の短期実現化をさらに追求し伊勢原製造所存続を決定～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区東五反田、代表取締役社長：市川 侑男、以下市光工業）は、5月6日に実施した取締役会において、3月9日に発表した生産体制再構築に関する計画について、抜本的に見直すことを決定しました。

同計画は、早くても2010年度内に市場が回復するとの慎重な予測のもとに行われたものですが、各自動車メーカーの2009年の販売見通しは予想に反して好転しています。即ち、2009年度上期には在庫調整がほぼ終了し、2009年度下期には回復基調を予測していることから、当社もそれら回復基調に伴う生産体制の保持、ならびに雇用確保に速やかに対応すべく再精査した結果、投資費用効果の短期実現化の追求、更に資金効率の観点から、本年5月6日開催の取締役会において計画を見直すことになりました。

1 生産体制再構築見直しの概要

(1) 伊勢原製造所操業停止の見直し及び大泉製造所の操業停止

当社のヘッド・ランプは伊勢原製造所及び大泉製造所で生産しておりますが、生産性効率の向上させることを目的として伊勢原製造所の1ヵ所にヘッド・ランプの生産を集約させることとし、伊勢原製造所操業停止を見直して大泉製造所の操業を本年12月末に停止することに致します。なお、大泉製造所の操業停止後の伊勢原製造所におけるヘッド・ランプの生産規模は月産25万個を計画しております。

(2) 九州市光工業株式会社新工場建設の見直し

伊勢原製造所にヘッド・ランプの生産を集中化することに伴い、九州市光工業株式会社に新工場を建設する計画を見直し、当面は現存の生産体制を維持致します。市況が回復し且つ需要に伴う生産対応については引続き検討する予定です。

(3) 藤岡製造所及び中津川製造所

- ①藤岡製造所にリアコンビネーションランプの生産を集約し、月産 25 万個の生産体制とする計画に変更はありません。
- ②2009 年 9 月末日をもって中津川製造所の操業を停止する計画に変更はありません。

2 グループ要員適正化の概要

生産体制集約及び早期退職募集による人員削減は、雇用確保の観点から、約 730 名から約 560 名に縮小する予定です(非常用を含む)。

3 業績に与える影響

生産体制再構築の見直し及び早期退職募集を実施するにあたり、短期的な一定の費用が発生するものの、当社の中期戦略である「アジアグローバル」との相乗効果により、今後それを上回る収益の確保を想定しております。また、市況が本格的に回復したときには、当社及び当社と提携関係にあります Valeo Co. , LTD. との合弁会社である「市光法雷奥(佛山)汽車照明系統有限公司」においても速やかに生産の対応ができるように体制を整えます。これらに要する具体的金額については流動的であり、見通しが判明次第速やかにお知らせいたします。

以上

(参考)

「市光工業とは」

市光工業株式会社(以下、市光工業)は、1903 年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及び、海外自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932 年には初代ダットサン(日産)へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、また、次世代の光源として注目されている LED ヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで 21%、ミラーで 27%といった大きなシェアを誇っています(2007 年実績)。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子/日置
TEL : 03-3443-7211

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 03-3443-7211

(株)VAインターナショナル

田中/亀有
TEL : 03-3499-0016
FAX : 03-3499-0017